

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン	担当者	小林千尋		
科目名	キャリアプランニング1	必修・選択	選択必修		
単位数	1単位	授業形態	講義	年次	1年次
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	希望する業種・職種で職を得るために、効果的で適正な就職活動を行うべく、実務的な準備(履歴書作成など)とキャリア教育(各種自己分析など)を通じて実践的なレベルを目指す。				
◆概要	自己分析を通じて自分のゴールを再度確認する。履歴書は自らの歴史と自分自身をPRするものなので、広義のとなる。また、実際の就職活動により密着した自己PRや仮の志望動機も作成してみる。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	「キャリア」とは、3年間の心構え、卒業生の内定先・就活について、「振り返り」				
第2週	ライフライン分析、キャリアパス				
第3週	「職業興味と職業適性」				
第4週	グループワーク「雪山で遭難」、「新聞タワー」				
第5週	自己分析①「ジョハリの窓」、「エゴグラム」				
第6週	自己分析②「ほめられたこと」、「良いところ見つけ」				
第7週	自己PR文をつくってみよう				
第8週	中間テスト(作文)				
第9週	企業研究・求人票を見てみよう①(求められる人材は)				
第10週	企業研究・求人票を見てみよう②(賃金、休日、社会保険など)				
第11週	企業研究・②(求人票を使って)求められる人材とは				
第12週	一般教養(社会人基礎、時事問題)				
第13週	一般教養(初歩のSPI)				
第14週	履歴書作成①(自己PR、志望動機以外を記入)				
第15週	履歴書作成②(自己PR確認、職種志望動機作成)				
第16週	履歴書作成③(期末テストに向けて)				
第17週	期末テスト 履歴書の作成				
3. 履修上の注意					
筆記用具を持参					
4. 使用教材(テキスト等)					
プリント教材					
5. 単位認定評価方法					
評価基準:絶対評価					
中間・期末テスト、授業態度、出席状況、課題提出・内容					
6. その他					

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科	担当者	清水		
科目名	情報リテラシー 1	必修・選択(注記)	選択必修		
単位数	1単位	授業形態	講義	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	タッチタイピング、基本的なWindows操作ができる マイクロソフトWordでビジネス文書の作成ができる 各自のスキルに合わせ受験級を設定し、日本情報処理検定協会主催の「ワープロ検定」に合格する				
◆概要	ワープロ検定の問題を解きながら、タイピングの基礎、Windows操作、Wordによる文書作成を習得する。10月に個々の習熟度に応じた級の検定を受験する。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	パソコンおよびWindowsの基本操作およびWiFi・プリンター等の設定確認、習熟度調査 タッチタイピングの基本および日本語文章入力				
第2週	タッチタイピングの基本および日本語文章入力 Windows、Wordの基本操作				
第3週	日本語文章入力(計測) ワープロ検定3級程度の問題解法				
第4週	日本語文章入力(計測) ワープロ検定準2級程度の問題解法(複雑な表)				
第5週	日本語文章入力(計測) ワープロ検定2級程度の問題解法(インデント・きりとり線)				
第6週	ワープロ検定準2～2級程度の問題演習				
第7週	ワープロ検定準2～2級程度の問題演習				
第8週	ワープロ検定準2～2級程度の問題演習				
第9週	中間試験 ワープロ検定準2級程度の問題				
第10週	日本語文章入力(計測) ワープロ検定準1級程度の問題解法				
第11週	日本語文章入力(計測) ワープロ検定準1級程度の問題解法(図形描画)				
第12週	日本語文章入力(計測) ワープロ検定1級程度の問題解法(図形描画)				
第13週	ワープロ検定問題演習 習熟度に応じた級別の個別問題演習				
第14週	ワープロ検定問題演習 習熟度に応じた級別の個別問題演習				
第15週	ワープロ検定問題演習 習熟度に応じた級別の個別問題演習				

第16週	ワープロ検定問題演習 習熟度に応じた級別の個別問題演習
第17週	期末試験 (習熟度に応じた級別)
<b>3. 履修上の注意</b>	
<p>課題が期日までに出せない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。</p>	
<b>4. 使用教材 (テキスト等)</b>	
<p>検定過去問題のプリントなど</p>	
<b>5. 単位認定評価方法</b>	
<p>評価基準:絶対評価 授業態度20%、中間・期末試験50%、課題・小テスト30% ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。</p>	
<b>6. その他</b>	
<p>校内共有パソコンを使用するため、パソコン内にデータを保存することができない。 各自USBメモリを用意してください。</p>	

学科 〈専攻〉	クリエイティブデザイン学科	担当者	清水
科目名	色彩・ラッピング 1	必修・選択(注記)	選択必修
単位数	1単位	授業形態	講義
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目		
1. 授業の到達目的と概要			
◆到達目標	配色の基本、色がもたらす心理的効果、生活の中での色のもたらす効果などを学び、色のコーディネートや日常における色の活用方法を理解する。色彩検定3級に合格する。／ラッピングの基礎からアレンジ方法までを学び、テーマに沿ったラッピングができるようになる。		
◆概要	色のはたらきや性質、「色」の表し方や混色理論などの基礎知識、色のもたらす心理的効果、カラーコーディネートや日常における色の活用方法を理解する。配色(色の組み合わせ)については、主に「PCCS」(色彩体系の一つ)をもとに学んでいく。／ラッピングの基礎とアレンジの方法を学び、さまざまな形のラッピング技術を習得する。		
2. 授業内容 (週単位で記入)			
第1週	Macのセットアップ作業		
第2週	色のはたらき、光と色(光とは)、光と色(光の性質、眼のしくみ)／ラッピングの基礎		
第3週	光と色(眼のしくみ、照明)／ラッピングの基礎		
第4週	光と色(混色)／ラッピングの基礎		
第5週	色の表示(色の分類と三属性)／ラッピングの基礎		
第6週	色の表示(色の分類と三属性)、当色相面と色立体／ラッピングの基礎		
第7週	色の表示(PCCS)／ラッピングの基礎		
第8週	色の表示(PCCS) PCCSカラーダイヤル作成／ラッピングの基礎		
第9週	中間試験 色彩心理(色の心理的効果)／ラッピングの基礎		
第10週	色彩心理(色の心理的効果)／ラッピングの基礎		
第11週	色彩心理(色の心理的効果)／ラッピングの基礎		
第12週	色彩心理(色の心理的効果)／ラッピングの基礎		
第13週	色彩調和(色相から配色を考える)／ラッピングの基礎		
第14週	色彩調和(色相から配色を考える)／ラッピングのアレンジ		
第15週	色彩調和(トーンから配色を考える)／ラッピングのアレンジ		

第16週	色彩調和(色相とトーンを組み合わせで配色を考える)／ラッピングのアレンジ
第17週	色彩調和(配色の基本技法)／ラッピングのアレンジ 配色イメージ
第18週	期末試験
<b>3. 履修上の注意</b>	
<p>課題が期日までに提出しない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。 授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。</p>	
<b>4. 使用教材 (テキスト等)</b>	
『色彩検定公式テキスト3級編』	
12色程度の色鉛筆 はさみ のり	
<b>5. 単位認定評価方法</b>	
<p>評価基準:絶対評価 授業態度20%、中間・期末試験50%、課題・小テスト30% ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。</p>	
<b>6. その他</b>	

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科	担当者	高橋		
科目名	デッサン	必修・選択	必修		
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	302教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	「表現力(技術)の向上」「観察力の向上」「物の本質を見抜く力の向上」を目指す。じっくりとモチーフを観察し、材質、感触、陰影などを根気強く丁寧に時間をかけて仕上げる作業は、表現する者・表現を生業にする者にとって非常に重要な基礎である。知識を得て観察をし繰り返し練習することで表現に欠かせないデッサンの基礎を身に着ける。				
◆概要	鉛筆デッサンを中心に様々な知識を学び、また繰り返し練習することで観察力と表現力・気付く力を身に着ける。鉛筆の持ち方からはじめ、鉛筆を用いた表現方法、様々な形態・素材のスケッチ、ハッチングで陰影をつける練習などを段階的に行う。最終的には自由にレイアウトしたモチーフのデッサンを行い、前期のまとめとする。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	デッサン導入「デッサンとは何か?」/道具の確認/クロスハッチング				
第2週	クロスハッチングによるグラデーション練習				
第3週	テーマを持った手のデッサン				
第4週	球体のデッサン(1)りんご・ボール				
第5週	球体のデッサン(2)りんご・ボール/完成				
第6週	透視図法				
第7週	角柱のデッサン(1)				
第8週	角柱のデッサン(2)/完成				
第9週	円柱のデッサン(1)				
第10週	円柱のデッサン(2)/完成				
第11週	様々な素材のデッサン(1)軍手・布				
第12週	様々な素材のデッサン(2)野菜				
第13週	様々な素材のデッサン(3)トイレtpーパー				
第14週	様々な素材のデッサン(4)石・ガラス				

第15週	モチーフの組み合わせ(1)円柱・角柱・球体
第16週	モチーフの組み合わせ(2)円柱・角柱・球体
第17週	モチーフの組み合わせ(3)円柱・角柱・球体／完成・提出
第18週	
<b>3. 履修上の注意</b> 通常授業に加え、休暇ごとに課題を出す。非常に課題の数が多いが、デッサンは量をこなす必要があることを肝に銘じて真剣に取り組むこと。また、この授業は造形の基礎であるとともに、観察力と集中力の持続を要する。根気のいる作業が続くが、絵の得意不得意に関わらず、真摯で丁寧な取り組みを求める。	
<b>4. 使用教材(テキスト等)</b> [学校側で用意するもの] スケッチブック(F4)、鉛筆(H、HB、2B、4B)、ミリペン、練りゴム [個人で用意するもの] 都度指示する。	
<b>5. 単位認定評価方法</b> 評価基準:絶対評価 制作物提出及び課題に関する評価50%、出欠席及び授業姿勢に関する評価50% 場合によっては授業態度をより重視する。	
<b>6. その他</b>	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 <専攻>	クリエイティブデザイン学科	担当者	栗田		
科目名	ITリテラシー	必修・選択	必修		
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	生成AIに関する知識・ルール、使用上の注意を学習し、今後のクリエイター活動に役立てることができるようになる。				
◆概要	AI STUDIO様の教材を下に、以下のスケジュールで学習を進めていく。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	Macセットアップ				
第2週	Macセットアップ				
第3週	学習タイトル「身近なAIを知ろう」				
第4週	学習タイトル「身近なAIを知ろう」				
第5週	学習タイトル「生成系AIを知ろう」				
第6週	学習タイトル「生成系AIを知ろう」				
第7週	予備日				
第8週	中間テスト				
第9週	学習タイトル「AIと著作権」				
第10週	学習タイトル「AIと著作権」				
第11週	予備日				
第12週	学習タイトル「AIでCMづくり」				
第13週	学習タイトル「AIでCMづくり」				
第14週	予備日				
第15週	学習タイトル「就活にAIを活用」				

第16週	学習タイトル「就活にAIを活用」
第17週	予備日
第18週	期末テスト
<b>3. 履修上の注意</b>	
特になし	
<b>4. 使用教材（テキスト等）</b>	
[学校側で用意するもの] ・レジュメ、板書資料、	
[個人で用意するもの] ・ノートパソコン、ノートなど	
<b>5. 単位認定評価方法</b>	
評価基準: 相対評価 各試験到達度および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35% ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。	
<b>6. その他</b>	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科	担当者	中村		
科目名	撮影編集技法1	必修・選択	必修		
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	302	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラ操作の基本をマスターする</li> <li>・完成形をイメージし、構図、光を意識した撮影ができるようになる</li> <li>・フォトマスター検定3級合格程度の知識を身に付ける</li> </ul>				
◆概要	<p>デジタルカメラやスマートフォンの高性能化、SNSの普及などで、写真がより身近なものになってきました。趣味だけでなく、さまざまな業種において情報発信などのツールとして、写真の重要性は年々高まってきています。</p> <p>ただし写真の基本はフィルムカメラ時代から受け継がれてきた技術がベースとなっています。この科目を通して、カメラ操作および撮影の基本を学習し、思い描いたイメージ通りの写真を撮れるようになることを目指します。</p>				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	自己紹介、カメラを使った仕事について				
第2週	一眼レフカメラの基本操作について				
第3週	撮影実習				
第4週	撮影実習講評				
第5週	カメラ操作				
第6週	カメラ操作				
第7週	カメラ操作				
第8週	カメラ操作				
第9週	カメラ操作				
第10週	カメラ操作				
第11週	テーマ撮影実習				
第12週	テーマ撮影実習				
第13週	テーマ撮影実習				
第14週	撮影実習				

第15週	写真講評(前回、および夏季休暇中に撮った写真を使って講評を行う)
第16週	テーマ撮影実習
第17週	まとめ
第18週	
<b>3. 履修上の注意</b> ・カメラは個人で保有している人は持参してもらう。ない場合は学校のカメラ機材を使用し、不足分についてはお互い融通しながら使う。 ・課題によってはプリントした写真も使う。写真プリントの費用は各自負担となる。	
<b>4. 使用教材(テキスト等)</b> [学校側で用意するもの] プロジェクター、ノートPC、カードリーダー [個人で用意するもの] レンズ交換式カメラ(あれば)	
<b>5. 単位認定評価方法</b> 評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
<b>6. その他</b> 学生の理解度等によって授業内容は変更になる場合がある。 講師について: 安曇野市で写真館「ワイルドベリーフォト」を運営しながら現場第一線で活動。撮影の基礎を業務での経験を活かしデジタル一眼レフカメラを使用し教授する。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科	担当者	栗田		
科目名	実務教養1	必修・選択	必修		
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	308	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	企業連携に対応した動画編集技術、撮影技術の習得				
◆概要	日本ビジネス航空協会様からの案件である「ビジネスジェットのPR動画-松本空港編-」というテーマの動画制作を実施する。授業を通し、カメラ技術やライティング、画面構成やテキストアニメーションについてなど幅広く学習する。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	情報収集およびビデオコンテ及び絵コンテの制作				
第2週	情報収集およびビデオコンテ及び絵コンテの制作				
第3週	企業連携スタート:企業の方からプロジェクトの詳細説明				
第4週	仮制作				
第5週	仮制作				
第6週	仮制作				
第7週	仮制作				
第8週	仮制作				
第9週	中間発表会				
第10週	本制作				
第11週	本制作				
第12週	本制作				
第13週	本制作				
第14週	本制作				
第15週	本制作				

第16週	仕上げ・微調整
第17週	仕上げ・微調整
第18週	納品
3. 履修上の注意 特になし	
4. 使用教材(テキスト等) [学校側で用意するもの] 撮影機材一式 [個人で用意するもの] PC、筆記用具、ノートなど	
5. 単位認定評価方法 評価基準: 相対評価 納品作品に関する評価65%、授業姿勢・出席に関する評価35%	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 <専攻>	クリエイティブデザイン学科		担当者	栗田／溝口	
科目名	アート・デザイン概論		必修・選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	講義・演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	なし	実務経験のある教員等による授業科目			○

1. 授業の到達目的と概要

◆到達目標	クリエイティブの基礎となる文字・色・言葉について、講義と演習を交えて学習し、状況にあった文字選び、色選び、言葉の作り方、ビジュアル表現の習得を目指します。 前期修了作品:オリジナル欧文フォント制作
◆概要	アートと違いデザインは職能です。ルールを守り適切な答えを導き出すことで、様々な問題を解決することが出来ます。この科目では問題解決のための基礎となる知識や、後期から行うDTPの際に必要なバランス感覚を養うための基礎トレーニングを繰り返していきます。

2. 授業内容 (週単位で記入)

第1週	職業講話 Macセットアップ
第2週	色のイメージ効果① プロフィールカラーージュ
第3週	色のイメージ効果②・色彩基礎 プロフィールカラーージュ
第4週	色相環 書体基礎①
第5週	色相環+COLORS IMAGES 和文フォント+フォントで名刺ws
第6週	COLORS IMAGES フォントで名刺ws
第7週	COLORS IMAGES+色設計 フォントで名刺ws
第8週	色設計 書体基礎②導入・Trajan
第9週	キャッチコピー 書体基礎③ローマン体
第10週	キャッチコピー 書体基礎④銅板・手描き風・ブラックレター
第11週	キャッチコピー 書体基礎⑤ゴシック・フォント名テスト・書体基礎⑥変わり種書体 オリジナル欧文書体考案
第12週	キャッチコピー オリジナル欧文書体考案
第13週	オリジナル欧文書体考案・決定
第14週	オリジナル欧文トレス
第15週	オリジナル欧文トレス

第16週	オリジナル欧文トレス
第17週	オリジナル欧文トレス提出
<b>3. 履修上の注意</b> コラージュ用素材準備など事前に個人的に素材を用意する必要がある。 アイデア出しや宿題などが発生するため授業時間外に課題を行う必要がある。	
<b>4. 使用教材(テキスト等)</b> [学校側で用意するもの] ・作品台紙用ケント紙 ・CMYW+Kアクリル絵の具 ・名刺WS用紙 ・オリジナル欧文フォント用紙(はがきサイズ) [個人で用意するもの] ・ノートパソコン ・コラージュ素材(雑誌・新聞・フリーペーパー・他) ・絵の具セット(筆や筆洗いなど小中高で使用したものでも可) ・サインペン(黒 太め・細め) ・定規	
<b>5. 単位認定評価方法</b> 評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
<b>6. その他</b> デザイン事務所でざいんと( <a href="http://designto.info/">http://designto.info/</a> )代表。主に県内で活躍。	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科	担当者	関・栗田		
科目名	デザインツール	必修・選択	選択必修		
単位数	4単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	70コマ	授業場所	普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	Adobeアプリケーション(主にIllustratorとPhotoshop、PremierとAfter Effects)の基本操作を学び、主軸科目については、Illustratorクリエイター能力認定試験とPhotoshopクリエイター能力認定試験の検定合格を目指す。				
◆概要	毎週月・火曜日)テキストや検定過去問題をもとにそれぞれのアプリの基本操作を学ぶ。基本操作を習得後は検定対策を行う。 毎週水曜日)アプリケーションの操作を学び、作品1つを仕上げる。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	Macのセットアップ作業				
第2週	Illustrator 基本操作 動画作品の紹介とプレゼン				
第3週	Illustrator 図形描画・文字入力 Premier基礎				
第4週	Illustrator 図形描画・文字入力、アレンジ Premier基礎				
第5週	Illustrator 図形・文字のアレンジ、新機能 Premier基礎／作品制作				
第6週	Illustrator 検定対策 Premier基礎／作品制作				
第7週	Illustrator 検定対策 Premier基礎／作品制作				
第8週	Illustrator 検定対策 Premier基礎／作品制作				
第9週	Illustratorクリエイター能力認定試験 受験 Premier基礎／作品制作				
第10週	photoshop 基本操作 After Effects基礎・素材制作				
第11週	photoshop 写真補正の基本 After Effects基礎・素材制作				
第12週	photoshop 写真補正の応用 After Effects基礎・素材制作				
第13週	photoshop テキストやオブジェクトの加工・写真や文字の合成・新機能 After Effects基礎・素材制作				
第14週	photoshop 検定対策 After Effects基礎・素材制作				
第15週	photoshop 検定対策 作品制作				

第16週	photoshop 検定対策 作品制作
第17週	photoshop 検定対策 作品制作
第18週	Photoshopクリエイター能力認定試験 受験 作品制作
<b>3. 履修上の注意</b>	
<p>課題が期日までに出せない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。  授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。</p>	
<b>4. 使用教材（テキスト等）</b>	
配布するテキストおよびレジュメとする	
<b>5. 単位認定評価方法</b>	
<p>評価基準：絶対評価  授業態度 20%、III検定合格 30%、Photo検定合格 30%、課題 20%  ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。</p>	
<b>6. その他</b>	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科	担当者	栗田		
科目名	ネットワークリテラシー	必修・選択	必修		
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HTMLおよびCSSの基礎を学び、基礎的なコーディングができる</li> <li>・DTPやグラフィックデザインに関する基礎用語などを理解することができる</li> </ul>				
◆概要	前期前半まではHTMLとCSS、コーディングの組み方など基本的な言語について学び、後半にはコーディングの実習およびDTP用語についての基礎学習を進める				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	Macのセットアップ				
第2週	Macのセットアップ				
第3週	HTMLの基礎を実習				
第4週	HTMLの基礎を実習				
第5週	HTMLの基礎を実習				
第6週	HTMLにCSSを追加した基礎学習				
第7週	HTMLにCSSを追加した基礎学習				
第8週	HTMLにCSSを追加した基礎学習				
第9週	HTMLにCSSを追加した基礎学習				
第10週	Webページ制作とDTP関連用語の学習				
第11週	Webページ制作とDTP関連用語の学習				
第12週	Webページ制作とDTP関連用語の学習				
第13週	Webページ制作とDTP関連用語の学習				
第14週	Webページ制作とDTP関連用語の学習				
第15週	課題制作と期末テスト対策				

第16週	課題制作と期末テスト対策
第17週	課題制作と期末テスト対策
第18週	課題制作と期末テスト対策
<b>3. 履修上の注意</b>	
特になし	
<b>4. 使用教材（テキスト等）</b>	
[学校側で用意するもの] ・レジュメ、板書資料、	
[個人で用意するもの] ・ノートパソコン、配布されたテキスト	
<b>5. 単位認定評価方法</b>	
評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢・欠席や遅刻数に関する評価35%	
<b>6. その他</b>	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン		担当者	小林千尋	
科目名	キャリアプランニング2		必修・選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	講義	年次	1年次
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	キャリアプランニング1での基礎に基づき、希望する業種・職種で職を得る。				
◆概要	キャリアプランニング1の内容をフォローしつつ、再度確認したゴールを目指す。効果的で適正な就職活動を行うべく実務的な準備(履歴書作成、志望動機・自己PRの作成など)と、広い意味でのキャリア教育(職業観、ライフワークバランス、仕事と法律など)を学び、一緒に考える。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	前期末テストを振り返って(志望動機・自己PRを推敲)				
第2週	一般常識				
第3週	時事問題				
第4週	SPI				
第5週	SPI				
第6週	ビジネスマナー①				
第7週	ビジネスマナー②				
第8週	ビジネスマナー③				
第9週	中間テスト				
第10週	電話対応①				
第11週	電話対応②				
第12週	面接①				
第13週	面接②				
第14週	本番を意識した履歴書の作成(就職ラリー)				
第15週	企業リサーチ				
第16週	就活手帳の活用方法、送付状作成、封筒の宛名書き				
第17週	期末テスト(求職票の作成)				
3. 履修上の注意					
筆記用具を持参					
4. 使用教材(テキスト等)					
プリント教材					
5. 単位認定評価方法					
評価基準:絶対評価					
中間・期末テスト、授業態度、出席状況、課題提出・内容					
6. その他					

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科	担当者	清水		
科目名	情報リテラシー 2	必修・選択(注記)	選択必修		
単位数	1単位	授業形態	講義	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	マイクロソフトExcelでビジネス資料の作成ができる 各自のスキルに合わせ受験級を設定し、日本情報処理検定協会主催の「情報処理検定(表計算)」に合格する				
◆概要	表計算検定の問題を解きながら、効率的なデータ入力、ワークシート編集、関数を利用した計算式の入力、グラフ作成等について習得する。2月(次年度7月)に個々の習熟度に応じた級の検定を受験する。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	Excel基本操作				
第2週	関数を使った計算式				
第3週	関数を使った計算式、グラフ				
第4週	表計算検定3級の問題解法 問題演習				
第5週	問題演習				
第6週	問題演習				
第7週	表計算検定2級の問題解法				
第8週	問題演習				
第9週	中間試験 表計算検定2級程度の問題				
第10週	問題演習				
第11週	表計算検定1級の問題解法				
第12週	各級問題演習				
第13週	各級問題演習				
第14週	各級問題演習				
第15週	各級問題演習				

第16週	各級問題演習
第17週	検定受験(期末試験)
<b>3. 履修上の注意</b>	
<p>課題が期日までに出せない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。  授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。</p>	
<b>4. 使用教材 (テキスト等)</b>	
<p>検定過去問題のプリントなど</p>	
<b>5. 単位認定評価方法</b>	
<p>評価基準:絶対評価  授業態度20%、中間・期末試験50%、課題・小テスト30%  ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。</p>	
<b>6. その他</b>	
<p>校内共有パソコンを使用するため、パソコン内にデータを保存することができない。  各自USBメモリを用意してください。</p>	

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科	担当者	清水		
科目名	色彩・ラッピング2	必修・選択(注記)	選択必修		
単位数	1単位	授業形態	講義・演習	年次	1
総授業数(予定)	18コマ	授業場所	普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	配色の基本、色もたらす心理的効果、生活の中での色もたらす効果などを学び、色のコーディネートや日常における色の活用方法を理解する。色彩検定3級に合格する。 ／テーマに合うボトル、立方体、直方体の3種のラッピングの方法と調和を考え、ラッピングする。				
◆概要	色のはたらきや性質、「色」の表し方や混色理論などの基礎知識、色もたらす心理的効果、カラーコーディネートや日常における色の活用方法を理解する。配色(色の組み合わせ)については、主に「PCCS」(色彩体系の一つ)をもとに学んでいく。検定合格に向けて、過去問題を中心に問題演習に多く取り組む。 ／テーマに沿った包装紙・リボン・オーナメント、ラッピングの方法を考え形にする。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	ファッションと色彩				
第2週	ファッションと色彩				
第3週	インテリアと色彩・色名 過去問解答・解説				
第4週	過去問解答・解説				
第5週	過去問解答・解説				
第6週	過去問解答・解説				
第7週	過去問解答・解説 期末試験				
第8週	本試験答え合わせと解答解説				
第9週	期末課題(ラッピング)				
第10週	期末課題(ラッピング)				
第11週	期末課題(ラッピング)				
第12週	期末課題(ラッピング)				
第13週	期末課題(ラッピング)				
第14週	期末課題(ラッピング)				

第15週	期末課題(ラッピング)
第16週	期末課題(ラッピング)
第17週	期末課題(ラッピング)
第18週	期末課題(ラッピング)
<b>3. 履修上の注意</b>	
<p>課題が期日までに出せない場合、基準に満たない場合は、単位不認定となる場合がある。          授業に出席していても、私語や居眠りが多い場合はその時間を欠席とみなすことがある。</p>	
<b>4. 使用教材 (テキスト等)</b>	
<p>『A・F・T色彩検定公式テキスト3級編』          12色程度の色鉛筆</p>	
<b>5. 単位認定評価方法</b>	
<p><b>評価基準:絶対評価</b>  <b>授業態度20%、中間・期末試験50%、課題・小テスト30%</b>          ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。  <b>期末試験の得点が低くD評価だった場合、本試験合格で単位認定する。</b></p>	
<b>6. その他</b>	
<p>色彩検定11/9 (日)</p>	

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	高橋	
科目名	デッサン2		必修・選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	「表現力(技術)の向上」「観察力の向上」「物の本質を見抜く力の向上」を目指す。じっくりとモチーフを観察し、材質、感触、陰影などを根気強く丁寧に時間をかけて仕上げる作業は、表現する者・表現を生業にする者にとって非常に重要な基礎である。知識を得て観察をし繰り返し練習することで表現に欠かせないデッサンの基礎を身に着ける。				
◆概要	前期で習ったことを踏まえ、基礎デッサンを繰り返しながらさらに高次元の表現力および応用力を身に着ける。また点描や鑑賞など鉛筆にこだわらない表現方法や知識を通し、デッサンを介してクリエイティブな発想や着眼点への様々なアプローチを探る。最終的には構図を学び、構図を意識したデッサンを行うことで一年間のまとめとする。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	前期の復習:基本形態のデッサン				
第2週	幾何学形態のデッサン(1)				
第3週	幾何学形態のデッサン(2)完成				
第4週	スクラッチ技法(1)				
第5週	スクラッチ技法(2)完成				
第6週	点描(1)				
第7週	点描(2)完成				
第8週	顔のパーツのデッサン				
第9週	自画像(1)				
第10週	自画像(2)				
第11週	自画像(3)完成/自画像を元にしたキャラクターのデッサン(1)				
第12週	自画像を元にしたキャラクターのデッサン(2)				
第13週	自画像を元にしたキャラクターのデッサン(3)完成				
第14週	鑑賞				

第15週	構図について(講義)／構図を意識したデッサン(1)
第16週	構図を意識したデッサン(2)
第17週	構図を意識したデッサン(3)完成
第18週	
<b>3. 履修上の注意</b> 前期同様、休暇ごとに課題を出すほか、課題の数が多い。デッサンの習得には量をこなす必要があると思って取り組むこと。デッサンとは造形の基礎であり、観察力と集中力の持続を要する。非常に根気のいる作業が続くが、絵の得意不得意に関わらず、真摯で丁寧な取り組みを求める。	
<b>4. 使用教材(テキスト等)</b> スケッチブック(F4)、鉛筆(H、HB、2B、4B)、練りゴム、ミリペン その他必要なものについては都度指示する。	
<b>5. 単位認定評価方法</b> 評価基準:絶対評価 制作物提出及び課題に関する評価50%、出欠席及び授業姿勢に関する評価50% 場合によっては授業態度をより重視する。	
<b>6. その他</b>	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 <専攻>	クリエイティブデザイン学科	担当者	栗田		
科目名	実務教養1	必修・選択(注記)	選択必修		
単位数	1単位	授業形態	講義・演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	○	実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	外部講師としてプロの技術者の方から現場の話を聞くことにより、見聞を広める				
◆概要	県内の業界第一線で活躍されるプロの方を非常勤講師でお招きし、こだわり・信念・どうやって仕事にしているかなどを直接講義、演習いただく				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	AkaneBonBon様(貼り箱制作)				
第2週	AkaneBonBon様(貼り箱制作)				
第3週	AkaneBonBon様(貼り箱制作)				
第4週	AkaneBonBon様(貼り箱制作)				
第5週	中野霞 様(俳句制作)				
第6週	中野霞 様(俳句制作)				
第7週	中野霞 様(俳句制作)				
第8週	中野霞 様(俳句制作)				
第9週	中間試験週				
第10週	藤原印刷様(インクについて)				
第11週	藤原印刷様(会社について)				
第12週	藤原印刷様(画像補正について)				
第13週	藤原印刷様(製本について)				
第14週	課題制作				
第15週	課題制作				

第16週	課題制作
第17週	課題制作
第18週	

### 3. 履修上の注意

プロの講師の方は都度、変更の可能性がある。

また、県内においてまん延防止策などが発令された場合は、オンライン授業などに切り替える場合がある。

### 4. 使用教材（テキスト等）

特になし

### 5. 単位認定評価方法

評価基準：絶対評価

授業態度 20%、中間・期末試験 50%、課題・小テスト 30%

ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。

期末試験の得点が低くD評価だった場合、本試験合格で単位認定する。

### 6. その他

玉木美企子：トビラ舎代表。県内外でコピーライターとして活躍中。<https://www.tobira-sha.com/about>

AkaneBonBon：貼り箱職人。藤原印刷：松本市内の印刷会社。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科	担当者	溝口		
科目名	DTPデザイン演習	必修・選択	必修		
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	32コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	年賀状デザインでは「比喻表現」と「イラスト表現」を、デザイン基礎ではDTPデザインの基礎を、メニューデザインではDTPデザインの実技を、地元ポスターでは「知る」「調べる」「表現する」のデザイン考案・表現の基礎を実践し習得を目指します。前期修了作品：年賀状・メニューデザイン・地元ポスター				
◆概要	後期からは前期で学んだ基礎をベースに、パソコンを用いて実習形式で課題制作を行います。各課題では「着想」「発案」「実技」の過程を実践的に学び、実社会で役立つ技術と、クリエイティブな着想・発想の基礎を学びます。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	年賀状デザイン				
第2週	年賀状デザイン				
第3週	年賀状デザイン				
第4週	デザイン基礎				
第5週	メニューデザイン				
第6週	メニューデザイン				
第7週	メニューデザイン				
第8週	メニューデザイン				
第9週	メニューデザイン				
第10週	メニューデザイン				
第11週	地元ポスター				
第12週	地元ポスター				
第13週	地元ポスター				
第14週	地元ポスター				
第15週	地元ポスター				

第16週	地元ポスター出力・パネル貼り
<b>3. 履修上の注意</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年賀状用素材・地元ポスター素材準備など事前に個人的に素材を用意する必要がある。</li> <li>・年賀状制作・地元ポスター制作に関する費用は各自負担となる。</li> <li>・アイデア出しや宿題などが発生するため授業時間外に課題を行う必要がある。</li> </ul>	
<b>4. 使用教材（テキスト等）</b>	
<p>[学校側で用意するもの]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット用紙</li> <li>・カメラ等撮影機材</li> </ul>	
<b>5. 単位認定評価方法</b>	
<p>評価基準:相対評価</p> <p>制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%</p>	
<b>6. その他</b>	
<p>デザイン事務所でざいんと代表 個人事務所にて主に県内での活動をしている <input checked="" type="checkbox"/></p>	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 <専攻>	クリエイティブデザイン学科		担当者	関	
科目名	Webサイトデザイン1		必修・選択	必修	
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	Webサイトの組立からコーディング、jQuery導入まで一連の流れを習得。オリジナルサイトを制作して就職活動に役立てる。				
◆概要	前期で学んだ基礎をベースに、パソコンを用いて実習形式で課題制作を行います。各課題では「デザイン」「コーディング」「オリジナルデザイン」の過程を実践的に学び、実社会で役立つ技術を学びます。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	Webサイトデザイン				
第2週	Webサイトデザイン				
第3週	Webサイトデザイン				
第4週	Webサイトデザイン				
第5週	Webサイトデザイン				
第6週	Webサイトデザイン				
第7週	Webサイトコーディング(HTMLマークアップ)				
第8週	Webサイトコーディング(HTMLマークアップ)				
第9週	Webサイトコーディング(HTMLマークアップ)				
第10週	Webサイトコーディング(HTMLマークアップ)				
第11週	Webサイトコーディング(HTMLマークアップ)				
第12週	Webサイトコーディング(Scss)				
第13週	Webサイトコーディング(Scss)				
第14週	Webサイトコーディング(Scss)				
第15週	Webサイトコーディング(Scss)				

第16週	Webサイトコーディング(Scss)
<b>3. 履修上の注意</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナルサイト制作に関する費用は各自負担となる。</li> </ul>	
<b>4. 使用教材（テキスト等）</b>	
[学校側で用意するもの]	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタルサーバー（卒業時に内容は削除します）</li> </ul>	
[個人で用意するもの]	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートパソコン</li> </ul>	
<b>5. 単位認定評価方法</b>	
評価基準: 相対評価	
制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
<b>6. その他</b>	
前職にてWebECサイトの構築・デザイン、コーディングなどを経験 <input checked="" type="checkbox"/>	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 グラフィックデザイナー専攻	担当者	溝口		
科目名	広告表現	必修・選択	必修		
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				○
<b>1. 授業の到達目的と概要</b>					
◆到達目標	広告デザイン制作習得 写真撮影基礎習得 前期修了作品:簡易パンフレット				
◆概要	一冊の簡易パンフレット制作を通して、広告制作の流れを学びます。 表紙グラフィック、A4・2/3・1/3広告、目次、自由レイアウト、地図作成、段組みレイアウト、写真素材撮影など、DTP広告制作に必要な技術を後期を通して習得します。				
<b>2. 授業内容 (週単位で記入)</b>					
第1週	授業説明・考察・ラフ制作				
第2週	ラフ制作				
第3週	ラフ制作				
第4週	ラフ制作				
第5週	外部講師写真撮影				
第6週	外部講師写真撮影				
第7週	外部講師写真撮影				
第8週	外部講師写真撮影				
第9週	デザイン制作				
第10週	デザイン制作				
第11週	デザイン制作				
第12週	デザイン制作				
第13週	デザイン制作				
第14週	デザイン制作				
第15週	デザイン制作				

第16週	デザイン制作
第17週	デザイン制作
第18週	デザイン制作
<b>3. 履修上の注意</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広告制作に関する素材準備など事前に個人的に素材を用意する必要がある。</li> <li>・ 広告制作に関する費用は各自負担となる。</li> <li>・ アイディア出しや宿題などが発生するため授業時間外に課題を行う必要がある。</li> </ul>	
<b>4. 使用教材（テキスト等）</b>	
[学校側で用意するもの] ・パンフレット用紙 ・カメラ等撮影機材	
<b>5. 単位認定評価方法</b>	
<b>評価基準: 相対評価</b> <b>制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%</b>	
<b>6. その他</b>	
デザイン事務所でざいんと代表 個人事務所にて主に県内での活動をしている <input checked="" type="checkbox"/>	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 <専攻>	クリエイティブデザイン学科 コミックイラストレーター専攻	担当者	高橋		
科目名	カラーイラスト演習	必修・選択	必修		
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	イラストレーションの基礎としてカラー画材の技術習得は必要不可欠なものとなる。画力向上の基礎練習を行いつつ、色鉛筆・水彩絵の具・コピック等身近にあるアナログ画材を使ってのイラスト演習を進め、画材を使用したイラストの表現力・技術力(タッチ、陰影、立体感等)を高める。				
◆概要	画力の基礎的な技術習得を目指すため授業の開始10分程度は毎回必ず人物クロッキーを行う。人物表現・背景表現の練習やタッチの練習等をカラー画材を用いて段階的に行っていく。中間課題では指定のストーリーに沿ったシーンのイラスト表現を行い、最終課題では各自でコンセプトを設定した上でイラスト制作を行い、それを用いたグッズの作成を行う。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	クロッキー(以降毎回)／各画材の特性と適する用紙・道具について／各自使用画材の確認 基礎練習: カラー基本(画材を用いたタッチとグラデーションの練習)				
第2週	基礎練習: カラー基本(カラーパレット制作)				
第3週	基礎練習: カラー基本(カラーパレットを元にした配色練習／講評)				
第4週	基礎練習: カラー基本(カラー画材での描画練習)				
第5週	中間課題: 指定ストーリーのカラーイラスト制作				
第6週	中間課題: 指定ストーリーのカラーイラスト制作				
第7週	中間課題: 指定ストーリーのカラーイラスト制作				
第8週	中間課題: 指定ストーリーのカラーイラスト制作／提出・講評				
第9週	基礎練習: 人物表現・背景表現				
第10週	基礎練習: 人物表現・背景表現				
第11週	基礎練習: 人物表現・背景表現				
第12週	基礎練習: 人物表現・背景表現				
第13週	基礎練習: 人物表現・背景表現				
第14週	最終課題: 個々に設定したコンセプトによるイラスト制作及びグッズ制作				

第15週	最終課題:個々に設定したコンセプトによるイラスト制作及びグッズ制作
第16週	最終課題:個々に設定したコンセプトによるイラスト制作及びグッズ制作
第17週	最終課題:個々に設定したコンセプトによるイラスト制作及びグッズ制作／講評・提出
第18週	
<b>3. 履修上の注意</b> アナログ画材の使用を基本とするが、中間課題及び期末課題についてはデジタル画材でも可とする。使用画材は各自で準備することが望ましい。普段より使用している画材があればそれで構わない。 使用画材に関しては授業初回に個別での相談に応じる他、授業を進めていく中でも別途応じていく。	
<b>4. 使用教材(テキスト等)</b> クロッキー帳・ミリペン アナログ画材(各自持ち寄り／色鉛筆・水彩絵の具・コピック等／色鉛筆なら24色以上が望ましい) 他必要な画材(用紙等)、プリント類は講師より随時配布する	
<b>5. 単位認定評価方法</b> 評価基準:絶対評価 制作物提出および課題に関する評価70%、出欠席に関する評価15%、授業姿勢に関する評価15%	
<b>6. その他</b> 長野県内でイラストレーターとして活動中(アトリエ・スイ)	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 <専攻>	クリエイティブデザイン学科	担当者	栗田		
科目名	修了制作1	必修・選択	必修		
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	11月の学校公開日に向けた展示物の制作および、2月末の修了制作展に向けた各種課題の制作				
◆概要	学校公開日で展示する作品の制作。または修了制作展で展示するための一人1研究制作。研究を通し、規則性や展開方法・販売方法などを学習しデザインに活かす。 また12月からは蜂蜜ラベルデザインの制作にあたる				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	学校公開日展示物制作				
第2週	学校公開日展示物制作				
第3週	学校公開日展示物制作				
第4週	学校公開日展示物制作				
第5週	学校公開日展示物制作				
第6週	学校公開日展示準備				
第7週	一人1研究企画・制作				
第8週	一人1研究企画・制作				
第9週	一人1研究企画・制作				
第10週	一人1研究企画・制作				
第11週	一人1研究企画・制作				
第12週	一人1研究企画・制作				
第13週	一人1研究企画・制作				
第14週	一人1研究企画・制作				
第15週	一人1研究企画・制作				

第16週	一人1研究企画・制作
第17週	研究仕上げ・展示準備
第18週	展示準備
<b>3. 履修上の注意</b>	
学校公開日に出展するものは修了制作展でも展示を実施する。	
<b>4. 使用教材（テキスト等）</b>	
授業内で配布するレジユメなど	
<b>5. 単位認定評価方法</b>	
評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
<b>6. その他</b>	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 <専攻>	クリエイティブデザイン学科		担当者	栗田	
科目名	修了制作2		必修・選択	必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	1
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	11月の学校公開日に向けた展示物の制作および、2月末の修了制作展に向けた各種課題の制作				
◆概要	学校公開日で展示する作品の制作。または修了制作展で展示するための一人1研究制作。研究を通し、規則性や展開方法・販売方法などを学習しデザインに活かす。 また12月からは蜂蜜ラベルデザインの制作にあたる				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	はちみつラベル企業説明会				
第2週	はちみつラベル企画制作				
第3週	はちみつラベル企画制作				
第4週	はちみつラベル企画制作				
第5週	はちみつラベル企画制作				
第6週	はちみつラベル企画制作				
第7週	はちみつラベル企画制作				
第8週	はちみつラベル企画制作				
第9週	はちみつラベル企画制作				
第10週	はちみつラベル企画制作				
第11週	はちみつラベル企画制作				
第12週	はちみつラベル企画制作				
第13週	はちみつラベル企画制作				
第14週	はちみつラベル企画制作				
第15週	はちみつラベル企画制作				

第16週	はちみつラベル企画制作
第17週	はちみつラベル企画制作
第18週	製品納品
<b>3. 履修上の注意</b>	
企業からの説明会で指定されたレギュレーションを遵守し、商品化されることを念頭に制作すること	
<b>4. 使用教材（テキスト等）</b>	
授業内で配布するレジユメなど	
<b>5. 単位認定評価方法</b>	
評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
<b>6. その他</b>	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	全学科	担当者	栗田		
科目名	総合演習 1	必修・選択	選択必修		
単位数	1単位	授業形態	講義・演習	年次	1
総授業数(予定)	20コマ	授業場所	教室・各実習室	前・後期	前後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
<b>1. 授業の到達目的と概要</b>					
◆到達目標	一般教養や専門学習など社会で役立つ知識や技術を学ぶ。また、特別活動として、学校生活ルールやクラス、学校行事を通して協調性や計画性を学ぶ。				
◆概要	クラス担任の指導によりホームルーム活動を行います。				
<b>2. 授業内容（週単位で記入）</b>					
第1週 ～ 第38週	一般教養や学科別の専門知識技術の学習 学生の手引き、学生生活ルールの確認 クラス、学校行事及び計画 等				
<b>3. 履修上の注意</b>					
出席時間数等は授業内で指示します。					
<b>4. 使用教材（テキスト等）</b>					
学生の手引き等					
<b>5. 単位認定評価方法</b>					
評価基準:絶対評価 出席時間、取り組みにより評価					
<b>6. その他</b>					

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 〈専攻〉	クリエイティブデザイン学科		担当者	清水 恵美	
科目名	キャリアプランニング3		必修・選択	必修	
単位数	1 単位	授業形態	講義	年次	2 年
総授業数(予定)	17 コマ	授業場所	MIT普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	自分の適性をもとに、希望する業種・職種を再度考え、希望する職に就く。				
◆概要	電話対応・面接の再練習、企業情報の提供など、目標到達のためのサポートを行う。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	就活方法、企業・求人情報の確認 ポートフォリオの作成				
第2週	学生の就活とそのサポート、求人票の見方を確認、自己PR・志望動機確認 ポートフォリオの作成				
第3週	応募から内定までの書類の準備と整え方 学生の就活とそのサポート				
第4週	ポートフォリオの作成 学生の就活とそのサポート				
第5週	ポートフォリオの作成 学生の就活とそのサポート				
第6週	ポートフォリオの作成 学生の就活とそのサポート				
第7週	作文 学生の就活とそのサポート				
第8週	就職活動用作文(文字数・時間制限有) 学生の就活とそのサポート				
第9週	中間テスト				
第10週	就職活動用作文(文字数・時間制限有) 学生の就活とそのサポート				
第11週	漢字・ペン字、ビジネスにふさわしい言葉遣い 学生の就活とそのサポート				
第12週	漢字・ペン字、ビジネスにふさわしい言葉遣い 学生の就活とそのサポート				
第13週	漢字・ペン字、ビジネスにふさわしい言葉遣い 学生の就活とそのサポート				
第14週	学生の就活とそのサポート				
第15週	学生の就活とそのサポート				

第16週	学生の就活とそのサポート
第17週	期末テスト（課題）
<b>3. 履修上の注意</b>	
筆記用具と就活手帳を持参	
<b>4. 使用教材（テキスト等）</b>	
就活手帳、プリント教材	
<b>5. 単位認定評価方法</b>	
評価基準:絶対評価	
中間・期末テスト（課題）、授業態度、出席状況を総じて評価する	
目標を持って自主的に就職活動を行った場合、高評価とする	
<b>6. その他</b>	
就活手帳P42～49についても学習する	
必要に応じてポートフォリオの作成時間を随時設ける	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科	担当者	堀内 貴彦		
科目名	造形実習 1	必修・選択	選択必修		
単位数	1単位	授業形態	実習	年次	2年次
総授業数（予定）	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	他の科目と連携し、コンペティションのためのデザインを考える。また、手に触れられる素材をもとに正確に造形できる力をつける。 必要に応じて自分で素材や加工方法を考え、構想を形にできる力をつけることを目標とする。				
◆概要	木材などの各種材料加工等を課題として、指定デザインやオリジナルデザインの造形物を制作する。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	コンペティションのデザイン制作				
第2週					
第3週					
第4週					
第5週					
第6週					
第7週					
第8週					
第9週	木材加工（題材はイス） イスのデザインを知ろう				
第10週	デザイナーチェアーのミニチュア作成				
第11週					
第12週					
第13週	イスのデザイン「一枚の板からイスを作成しよう」 テーマを設定し各自イスのデザインをしよう				
第14週					
第15週					
第16週					
第17週					
3. 履修上の注意					
工具の他、塗料や接着剤なども利用する。また、切り屑やハンダごてなどで服装を破損する可能性もある作業を行う。このため、工作に適した服装や髪形で授業に臨むこと。特にガラス加工時はケガに注意すること					
4. 使用教材（テキスト等）					
テキストはなし。PCの利用あり。					
5. 単位認定評価方法					
評価基準：絶対評価、出席不足ならびに課題未提出は単位不認定。 評価 出席10% 課題評価90%					
6. その他					
授業内でできない作業等は放課後や家庭で進めること。					

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科	担当者	栗田		
科目名	実務教養2	必修・選択	必修		
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	生成AIに関する知識・ルール、使用上の注意を学習し、今後のクリエイター活動に役立てることができるようになる。				
◆概要	AI STUDIO様の教材を下に、以下のスケジュールで学習を進めていく。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	学習タイトル「身近なAIを知ろう」				
第2週	学習タイトル「身近なAIを知ろう」				
第3週	予備日				
第4週	学習タイトル「AIとキャリア」				
第5週	学習タイトル「AIとキャリア」				
第6週	学習タイトル「生成系AIを知ろう」				
第7週	学習タイトル「生成系AIを知ろう」				
第8週	中間テスト				
第9週	学習タイトル「AIと著作権」				
第10週	学習タイトル「AIと著作権」				
第11週	予備日				
第12週	学習タイトル「AIでCMづくり」				
第13週	学習タイトル「AIでCMづくり」				
第14週	予備日				
第15週	学習タイトル「就活にAIを活用」				

第16週	学習タイトル「就活にAIを活用」
第17週	予備日
第18週	期末テスト
<b>3. 履修上の注意</b>	
特になし	
<b>4. 使用教材（テキスト等）</b>	
[学校側で用意するもの] ・レジュメ、板書資料、	
[個人で用意するもの] ・ノートパソコン、ノートなど	
<b>5. 単位認定評価方法</b>	
評価基準: 相対評価 各試験到達度および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35% ただし、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。	
<b>6. その他</b>	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科		担当者	関	
科目名	表現技法1		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業連携案件の実施・完遂</li> <li>・各設備を利用した作品制作・提出</li> </ul>				
◆概要	前期前半までは指定の企業連携授業に取り組み、実習する。前期後半は、レーザーカッターやカットプロッターなどを利用した作品制作を通し、設備の利用方法を理解する。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	企業連携:説明会実施およびラフ案制作				
第2週	制作				
第3週	制作				
第4週	制作				
第5週	制作				
第6週	完成データ納品				
第7週	<p>カットプロッター、レーザーカッター、3Dプリンター、スリマッカなど 各自でテーマを決め、作品制作に当たる。</p>				
第8週					
第9週					
第10週					
第11週					
第12週					
第13週					
第14週					
第15週					

第16週
第17週
<b>3. 履修上の注意</b> 機材利用にあたっては指導講師の指示に従うこと。
<b>4. 使用教材（テキスト等）</b> パソコン プリント配布
<b>5. 単位認定評価方法</b> <b>評価基準：絶対評価</b> <b>授業態度20%、中間・期末試験30%、検定合格30%、課題20%</b> ただし、受験級、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。
<b>6. その他</b>

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科	担当者	関		
科目名	Webサイトデザイン2	必修・選択	必修		
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	5月末までは企業連携に対応した制作の時間とする。6月よりWebの授業開始。1年時より更に広くWebに関する知識・技術を学習する科目。jQueryの扱いやサーバーへのアクセス、CMSの設定やCMSでのサイト制作などを学びます。				
◆概要	1)1年次に制作した各自のサイトにjQueryを用いてスライドなどを作成し、レスポンシブ化して、レンタルサーバーにアップロードする。 2)CMS(コンテンツマネジメントシステム)を用いてWebサイトを制作。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	企業連携				
第2週	企業連携				
第3週	企業連携				
第4週	企業連携				
第5週	企業連携				
第6週	HTML/CSSの総復習				
第7週	HTML/CSSの総復習				
第8週	レスポンシブウェブデザイン				
第9週	レスポンシブウェブデザイン				
第10週	レスポンシブウェブデザイン				
第11週	Wordpress				
第12週	Wordpress				
第13週	Wordpress ポートフォリオサイト制作				
第14週	Wordpress ポートフォリオサイト制作				
第15週	Wordpress				

第16週	Wordpress
第17週	サイトアップロード
3. 履修上の注意	
・ 課題制作の表現に必要なとなる資材は各自負担となる。	
4. 使用教材（テキスト等）	
配布するテキスト、Mac、1年時に使用したHTML+CSSのデータを使用	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価	
制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	
前職にてWebECサイトの構築やデザイン、コーディングに携わっていた	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 グラフィック		担当者	栗田／溝口	
科目名	メディアデザイン		必修・選択	必修	
単位数	3単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	51コマ	授業場所	306	前・後期	前期
企業連携科目	なし	実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	商品をPRするためのチラシ・広告制作に加え、実際に商品価値を高めるためのパッケージデザインを検証・考案し、簡易なパッケージであれば制作できるようになるまで学習する。なお、各種コンペティションへの参加を検討している。				
◆概要	毎週木曜日のパッケージデザインは、溝口先生よりデザインの方法を学び、他2コマはパッケージデザインの成り立ちや世の中のパッケージデザインの動向、実際の化粧箱の仕組みなどを学ぶ。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	パッケージデザインの種類と要素・技術 市場のパッケージデザインを学ぶ				
第2週	パッケージ観察・スケッチ1 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第3週	パッケージ観察・スケッチ2 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第4週	パッケージ観察・スケッチ3 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第5週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第6週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第7週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第8週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作 箱作り・座学：パッケージデザインの教科書：基礎編				
第9週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作				
第10週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作				
第11週	日本学生パッケージデザイン賞考案・制作				
第12週	独自ブランドパッケージ				
第13週	独自ブランドパッケージ				
第14週	独自ブランドパッケージ				
第15週	独自ブランドパッケージ				

第16週	Adobe dimension
第17週	Adobe dimension
<b>3. 履修上の注意</b>	
<p>テキストを用いた座学は小テストなどを実施するので、配布プリントなどの管理を徹底すること。          なお、毎時間1つのパッケージデザイン組み立てを実習する。</p>	
<b>4. 使用教材（テキスト等）</b>	
<p>パッケージデザインの教科書第3版を配布。主には講師が配布するレジユメを確認。          リサーチなどが発生するのでMacなどを持参すること</p>	
<b>5. 単位認定評価方法</b>	
<p>評価基準：相対評価</p>	
<p>制作物提出およびテストに関する評価70%、遅刻欠席に関する評価20%、授業姿勢に関する評価10%</p>	
<b>6. その他</b>	
<p>講師について：デザイン事務所でざいと代表 個人事務所で活動中</p>	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 〈専攻〉	クリエイティブデザイン学科 グラフィック／コミック	担当者	溝口		
科目名	ブランディング	必修・選択	必修		
単位数	3単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	51コマ	授業場所	306	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロゴマーク制作・小冊子制作を通してデザイン技術と表現方法の向上を図る。</li> <li>・Indesignによる冊子デザインの方法を学ぶ。</li> <li>・JAGDA学生グランプリに応募し、入選・入賞を目指す。</li> </ul>				
◆概要	<p>パソコンやタブレット端末の普及で、情報を伝えるためだけのチラシやPOP制作は専門知識がなくてもそれなりに作れる時代になっています。そんな中必要とされているのが、人の脳を刺激し興味を惹き付ける表現やブランド価値を高めるためのアイデアです。この科目ではグラフィックデザインの基礎技術向上と、アイデアと表現方法について学び、その成果物を各種コンペや校外展示に出品します。</p>				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	ロゴマークデザインとは (仮想店舗・仮想ブランドの設定・ラフ制作)				
第2週	ロゴマークデザイン (仮想店舗・仮想ブランドの設定・ラフ制作)				
第3週	ロゴマークデザイン				
第4週	ロゴマークデザイン				
第5週	JAGDA学生グランプリ				
第6週	JAGDA学生グランプリ				
第7週	JAGDA学生グランプリ				
第8週	JAGDA学生グランプリ				
第9週	JAGDA学生グランプリ				
第10週	JAGDA学生グランプリ				
第11週	JAGDA学生グランプリ				
第12週	JAGDA学生グランプリ				
第13週	Indesign				
第14週	PONY制作				

第15週	PONY制作
第16週	PONY制作
第17週	PONY制作
第18週	PONY制作
<b>3. 履修上の注意</b> ・アイデア出しで授業外に課題を行う必要がある。 ・コンペ作品制作課題にて表現に必要な資材は各自負担となる。 ・冊子制作の際の取材に関する費用は各自負担となる。	
<b>4. 使用教材(テキスト等)</b> [学校側で用意するもの] ・コンペ応募用台紙 ・各種外注出力 ・作品台紙用ケント紙 ・カメラ等撮影機材 [個人で用意するもの] ・ノートパソコン ・コンペ作品制作用資材 ・冊子制作に関する資材・取材費	
<b>5. 単位認定評価方法</b> 評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
<b>6. その他</b> デザイン事務所でざいんと代表 個人事務所にて主に県内での活動をしている	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 コミックイラストレーター専攻	担当者	高橋		
科目名	コミックイラスト演習	必修・選択	必修		
単位数	3単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	51コマ	授業場所	302教室	前・後期	前期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				○
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	コミックもしくはイラストレーションの制作を課題とする。初回に個別目標を設定し、以降それぞれの課題に向けて人物から背景まで幅広く表現し完成する力を身に着ける。最終的にはそれぞれの作品発表(イラストレーションは展示や作品集の制作、コミックはオリジナル作品集の入稿など)を目指す。				
◆概要	基礎描画力の向上を目指すため、授業の冒頭はクロッキーを行う。個別課題を設けた後は主にコミック制作とイラストレーション制作に分かれて個別に課題に取り組んでいく。コミックは指定に沿った4コマ漫画の制作から指定したテーマの8P漫画の制作へと段階的に取り組む。イラストは線画や着彩の技術を今一度さらい、商業的に求められる表現力の向上へと段階を深めていく。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	個別目標設定／クロッキー(以降毎時間行う) ビジネスマナー4コマ漫画制作／学生Tシャツデザインコンテスト応募作品制作				
第2週	コミック:ビジネスマナー4コマ漫画制作 イラストレーション:学生Tシャツデザインコンテスト応募作品制作				
第3週	コミック:ビジネスマナー4コマ漫画制作 イラストレーション:学生Tシャツデザインコンテスト応募作品制作／提出				
第4週	コミック:ビジネスマナー4コマ漫画制作 イラストレーション:テーマに沿ったイラストの制作(人物)				
第5週	コミック:ビジネスマナー4コマ漫画制作 イラストレーション:テーマに沿ったイラストの制作(人物)				
第6週	コミック:ビジネスマナー4コマ漫画制作 イラストレーション:テーマに沿ったイラストの制作(背景・建物・シンボル等)				
第7週	コミック:ビジネスマナー4コマ漫画制作／提出 イラストレーション:テーマに沿ったイラストの制作(背景・建物・シンボル等)／提出				
第8週	コミック:テーマに沿った4P～8P漫画制作(アイディア・プロット出し) イラストレーション:テーマに沿ったタブロー制作(アイディアスケッチ、構図決め)				
第9週	コミック:テーマに沿った4P～8P漫画制作(プロット出し) イラストレーション:テーマに沿ったタブロー制作(構図・アイディア決定～下書き)				
第10週	コミック:テーマに沿った4P～8P漫画制作(プロット～ネーム) イラストレーション:テーマに沿ったタブロー制作(下書き～清書)				
第11週	コミック:テーマに沿った4P～8P漫画制作(ネーム) イラストレーション:テーマに沿ったタブロー制作(清書～カラー着彩)				
第12週	コミック:テーマに沿った4P～8P漫画制作(ネーム～下書き) イラストレーション:テーマに沿ったタブロー制作(カラー着彩)				
第13週	コミック:テーマに沿った4P～8P漫画制作(下書き～清書・ペン入れ) イラストレーション:テーマに沿ったタブロー制作(カラー着彩～仕上げ)				
第14週	コミック:テーマに沿った4P～8P漫画制作(ペン入れ)／以下夏休み中も進行のこと イラストレーション:タブローの提出／夏休み中課題(オリジナル作品集)ラフ・添削				

第15週	コミック:テーマに沿った4P~8Pの漫画制作(夏休み中の進捗確認・トーン) イラストレーション:夏休み中課題提出・添削/オリジナル作品集の制作・個人制作
第16週	コミック:テーマに沿った4P~8Pの漫画制作(トーン・文字入れ) イラストレーション:オリジナル作品集の制作・個人制作
第17週	コミック:テーマに沿った4P~8Pの漫画制作(仕上げ・印刷・製本) イラストレーション:オリジナル作品集の制作・個人制作
第18週	コミック:テーマに沿った4P~8Pの漫画制作(製本)/提出 イラストレーション:オリジナル作品集の制作・個人制作/提出
<b>3. 履修上の注意</b>	
デジタル・アナログ、どちらの技法でも構わない。また、制作過程でMacの使用がある。 講師より個人にコンペやイベントなどの出品を勧める場合がある。その場合はシラバス通りの授業進行ではない。シラバスはあくまでも一例として参考にする事。	
<b>4. 使用教材(テキスト等)</b>	
[学校側で用意するもの] クロッキー帳、用紙等 [個人で用意するもの] 画材、Mac等。都度指示する。	
<b>5. 単位認定評価方法</b>	
評価基準:絶対評価 制作物提出および課題に関する評価70%、遅刻・欠席に対する評価15%、授業姿勢に関する評価15%	
<b>6. その他</b>	
長野県内でイラストレーターとして活動中(アトリエ・スイ)	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 <専攻>	クリエイティブデザイン学科 グラフィック／コミック	担当者	栗田・溝口		
科目名	プロジェクト演習1	必修・選択	必修		
単位数	3単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	51コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	前期
企業連携科目	○	実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	コラボ授業 パティシエブーランジェ学科との商品企画販売				
◆概要	コラボ授業:クリエイティブの学生がブランディングを企画し、パティシエの学生さんはその店舗企画に該当する菓子を考案する。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	コラボ授業:企画制作				
第2週	コラボ授業:制作				
第3週	コラボ授業:制作				
第4週	コラボ授業:制作				
第5週	コラボ授業:制作				
第6週	コラボ授業:制作				
第7週	コラボ授業:制作				
第8週	コラボ授業:制作				
第9週	コラボ授業:制作				
第10週	コラボ授業:制作				
第11週	コラボ授業:制作				
第12週	コラボ授業:制作				
第13週	コラボ授業:制作				
第14週	コラボ授業:制作				
第15週	コラボ授業:制作				

第16週	コラボ授業:制作
第17週	コラボ授業:制作
第18週	コラボ授業:井上にて展示販売予定
3. 履修上の注意	
店舗見学など外出の機会が多くなるが、就活生としても恥ずかしくない行動を取ることを	
4. 使用教材（テキスト等）	
Macなど	
5. 単位認定評価方法	
評価基準:相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	
デザイン事務所でざいんと代表 個人事務所にて主に県内での活動をしている	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科	担当者	清水		
科目名	情報リテラシー 3	必修・選択(注記)	選択必修		
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	12月受験:プレゼンテーション作成検定試験2級				
◆概要	パワーポイントの基本的な使い方と、プレゼンの仕方を学ぶ。パワーポイントの基本操作の習得後は、プレゼンテーション検定2級を目標に受験対策を行い合格を目指す。1級合格を目標にすることもできるよう、授業内で解答方法の解説を行う。				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	オリエンテーション プレゼンテーションの基礎知識・パワーポイントの基本操作				
第2週	パワーポイントの基本操作 課題1				
第3週	課題1				
第4週	プレゼンテーション作成検定試験 2級解答方法解説 2級練習問題、模擬問題解答				
第5週	2級模擬問題解答				
第6週	2級模擬問題解答				
第7週	2級模擬問題解答				
第8週	2級模擬問題解答				
第9週	期末試験				
第10週					
第11週					
第12週					
第13週					
第14週					
第15週					

第16週	
第17週	
<b>3. 履修上の注意</b>	
<p>検定対策として、各時間2問以上解答し提出する。授業内に終わらなかった場合は期限までに仕上げて提出すること。未提出の場合は、単位不認定とする事がある。</p>	
<b>4. 使用教材（テキスト等）</b>	
<p>パソコン          プリント配布（検定問題解答方法、模擬問題）</p>	
<b>5. 単位認定評価方法</b>	
<p><b>評価基準：絶対評価</b>  <b>授業態度20%、中間・期末試験30%、検定合格30%、課題20%</b>          ただし、受験級、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。</p>	
<b>6. その他</b>	

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 グラフィック／コミック	担当者	関/栗田		
科目名	表現技法2	必修・選択	必修		
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	IllustratorやPhotoshopについて更に技術を向上させる				
◆概要	チラシのリメイクを行うことで、IllustratorやPhotoshopなどのソフトについて技術力向上を目指し、他のデザインを見ながらより伝わりやすいデザインの模索を行うことでデザインのアイデア力・表現力を磨く				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	チラシリメイク				
第2週	チラシリメイク				
第3週	チラシリメイク				
第4週	チラシリメイク				
第5週	チラシリメイク				
第6週	チラシリメイク				
第7週	チラシリメイク				
第8週	チラシリメイク				
第9週	チラシリメイク				
第10週					
第11週					
第12週					
第13週					
第14週					
第15週					

第16週	
第17週	
第18週	
3. 履修上の注意	
特になし	
4. 使用教材（テキスト等）	
Mac	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 <専攻>	クリエイティブデザイン学科		担当者	栗田	
科目名	業務演習1		必修・選択(注記)	選択必修	
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
<b>1. 授業の到達目的と概要</b>					
◆到達目標	これまでの取得・未取得の検定について、再チャレンジの機会とする。また新しくビジネス著作権検定について全員受験とする。				
◆概要	就職後に求められるスキルの向上のため、各自で目標を設定し検定対策・受験を行う				
<b>2. 授業内容 (週単位で記入)</b>					
第1週	目標検定設定				
第2週	検定対策				
第3週	検定対策				
第4週	検定対策				
第5週	検定対策				
第6週	検定対策				
第7週	検定対策				
第8週	検定対策				
第9週	期末試験(検定受験)				
<b>3. 履修上の注意</b>					
個々に設定した目標達成のためにしっかりと取り組むこと。各時間活動報告書を提出する。未提出の場合は、単位不認定とする事がある。					
<b>4. 使用教材 (テキスト等)</b>					
パソコン プリント配布 (検定問題解答方法、模擬問題)					
<b>5. 単位認定評価方法</b>					
評価基準: 絶対評価 授業態度 20%、中間・期末試験 30%、検定合格 30%、課題 20%					

ただし、受験級、課題未提出や出席状況に応じて評価は変動する。

6. その他

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科	担当者	堀内 貴彦		
科目名	造形実習2	必修・選択	選択必修		
単位数	1単位	授業形態	実習	年次	2年次
総授業数（予定）	18コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	手に触れられる素材をもとに正確に造形できる力をつける。 また、必要に応じて自分で素材や加工方法を考え、構想を形にできる力をつけることを目標とする。				
◆概要	スタンドグラスを作成することによりガラス加工の技術を習得する。また、各自のデザインで身の回りの素材を利用して造形物を作る				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	スタンドグラス制作1 平面形状（サイズは指定）のスタンドグラス ・デザイン 加工 研磨、コパホイル、ハンダ等				
第2週					
第3週					
第4週					
第5週	スタンドグラス制作2 立体造形。 又は自由制作 各自の構想により造形物の作成。材料集め、加工組立				
第6週					
第7週					
第8週					
第9週					
3. 履修上の注意					
工具の他、塗料や接着剤なども利用する。また、切り屑やハンダごてなどで服装を破損する可能性もある作業を行う。このため、工作に適した服装や髪形で授業に臨むこと。特にガラス加工時はケガに注意すること					
4. 使用教材（テキスト等）					
テキストはなし。PCの利用あり。					
5. 単位認定評価方法					
評価基準：絶対評価、出席不足ならびに課題未提出は単位不認定。 評価は課題評価による。 評価 出席10% 課題評価90%					
6. その他					
授業内でできない作業等は放課後や家庭で進めること。					

学科 <専攻>	クリエイティブデザイン学科 グラフィック／コミック	担当者	関・栗田		
科目名	デザイン演習	必修・選択	必修		
単位数	1単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	17コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	IllustratorやPhotoshopについて更に技術を向上させる また、後半は検定対策として2種類の検定対策の時間を設ける				
◆概要	前半火曜日:学校公開日用の絵本制作、前半木曜日:就職活動 後期火曜日:DTP検定対策、後期木曜日:Webクリエイター能力認定試験対策				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	チラシリメイク 検定対策				
第2週	チラシリメイク 検定対策				
第3週	チラシリメイク 検定対策				
第4週	チラシリメイク 検定対策				
第5週	チラシリメイク 検定対策				
第6週	チラシリメイク 検定対策				
第7週	チラシリメイク 検定対策				
第8週	チラシリメイク 検定対策				
第9週	チラシリメイク 検定対策				
第10週					
第11週					
第12週					
第13週					
第14週					
第15週					

第16週	
第17週	
第18週	
3. 履修上の注意	
特になし	
4. 使用教材（テキスト等）	
Mac	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 <専攻>	クリエイティブデザイン学科	担当者	栗田		
科目名	プロジェクト演習2	必修・選択	必修		
単位数	2単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	34コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	○	実務経験のある教員等による授業科目			
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	企業連携または他学科・学校イベントから依頼された制作物の作成				
◆概要	1)未来学舎校章デザイン案の制作 2)学校公開日に向けたイベント準備 3)検定対策の時間とする				
2. 授業内容 (週単位で記入)					
第1週	企業連携				
第2週	企業連携				
第3週	企業連携				
第4週	企業連携				
第5週	学校公開日イベント企画・制作・準備				
第6週	学校公開日イベント企画・制作・準備				
第7週	各種検定対策				
第8週	各種検定対策				
第9週	各種検定対策				
第10週					
第11週					
第12週					
第13週					
第14週					
第15週					

第16週	
第17週	
第18週	
3. 履修上の注意	
特になし	
4. 使用教材（テキスト等）	
Mac	
5. 単位認定評価方法	
評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
6. その他	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	クリエイティブデザイン学科 グラフィック／コミック	担当者	栗田他		
科目名	卒業制作1～4	必修・選択	必修		
単位数	8単位	授業形態	演習	年次	2
総授業数(予定)	120コマ	授業場所	校内・普通教室	前・後期	後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
1. 授業の到達目的と概要					
◆到達目標	2年間の集大成として、最終日の展示に向け制作を進める				
◆概要	第6週までは他教科の補助的時間とする。公開日終了後より、溝口先生サポートのもと、今年度のテーマを決定し、企画書を制作する。企画が通った段階で12/1より制作開始となる。				
2. 授業内容（週単位で記入）					
第1週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営				
第2週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営				
第3週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営				
第4週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営				
第5週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営				
第6週	他教科の補助時間 公開日に向けた企画・制作・運営				
第7週	卒業制作テーマぎめ				
第8週	卒業制作企画書立案				
第9週	卒業制作企画書審査・終了				
第10週	卒業制作・製作開始				
第11週	卒業制作・製作開始				
第12週	卒業制作・製作開始				
第13週	卒業制作・製作開始				
第14週	卒業制作・製作開始				
第15週	卒業制作・製作開始				

第16週	卒業制作・製作開始
第17週	卒業制作・製作開始
第18週	2/26、27 井上百貨店にて展示会予定
<b>3. 履修上の注意</b>	
制作に必要なものは各自購入する。レシートを持参すれば制作費用から返金する。	
<b>4. 使用教材（テキスト等）</b>	
Mac、その他各自で準備したもの	
<b>5. 単位認定評価方法</b>	
評価基準: 相対評価 制作物提出および課題に関する評価65%、授業姿勢に関する評価35%	
<b>6. その他</b>	

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。

学科 ＜専攻＞	全学科	担当者	栗田		
科目名	総合演習 2	必修・選択	選択必修		
単位数	1単位	授業形態	講義・演習	年次	2
総授業数(予定)	20コマ	授業場所	教室・各実習室	前・後期	前後期
企業連携科目	実務経験のある教員等による授業科目				
<b>1. 授業の到達目的と概要</b>					
◆到達目標	一般教養や専門学習など社会で役立つ知識や技術を学ぶ。また、特別活動として、学校生活ルールやクラス、学校行事を通して協調性や計画性を学ぶ。				
◆概要	クラス担任の指導によりホームルーム活動を行います。				
<b>2. 授業内容（週単位で記入）</b>					
第1週 ～ 第38週	一般教養や学科別の専門知識技術の学習 学生の手引き、学生生活ルールの確認 クラス、学校行事及び計画 等				
<b>3. 履修上の注意</b>					
出席時間数等は授業内で指示します。					
<b>4. 使用教材（テキスト等）</b>					
学生の手引き等					
<b>5. 単位認定評価方法</b>					
評価基準:絶対評価 出席時間、取り組みにより評価					
<b>6. その他</b>					

A4用紙で作成し最大2ページまでとする。